学級経営計画：記入例

中学1年（7年生）の理科。実際の教師の計画ではなく、アレンジして使うためのサンプルです。

1 考え

生徒が最もよく行動できるのは、何が求められているかをはっきり分かっているとき、正しい行動をしたことに気づいてもらえていると感じるとき、そして失敗してもやり直せるときです。私の役割は、理科を教えるのと同じように行動を教えることです。説明し、練習させ、フィードバックを与えます。

2 約束

1. 準備をする：チャイムが鳴ったら、教材を用意して席に着いている。
2. 一生懸命取り組む：すべての課題に挑戦し、行き詰まったら助けを求める。
3. 人と道具を大切にする：誰かが話しているときは聞き、実験器具は丁寧に扱う。
4. 仲間を助ける：知っていることをグループで共有する。

3 ルーティン

入室: 生徒は教室に入ったら、ドアの横のトレーからウォームアップカードを取り、静かに取り組み始める。
注目の合図: 私が手を挙げて5からカウントダウンする。0になるまでに、手に何も持たず、目をこちらに向ける。
助けを求める: 個人作業中は、まずクラスメート2人に聞き、それから手を挙げる。
トイレ: 一度に1人まで。クリップボードに記入してから行く。私の説明中は行かない。
グループ活動: 声は「テーブルの大きさ」で、自分のグループにだけ聞こえるように。黒板の騒音モニターで確認できる。
早く終わったとき: 達成基準と照らし合わせて見直し、それからチャレンジカードを選ぶ。
実験の日: 器具に触れる前に保護ゴーグルを着用する。ゴーグルなしでは実験しない。
退室: チャイムが鳴ったときではなく、教室がきれいになり私が合図したときに退室する。

4 よい行動を認める

毎時間、4つの約束について、特に授業開始時の準備と仲間を助けることに対してポイントを与えます。生徒はポイントを特典に使えます：1日自分で席を選ぶ、課題の提出期限を1日延ばす、実験のパートナーを選ぶ。クラス全体で決められたポイントに達したら、生徒が選んだ実験をクラスで行います。毎週2件、家庭によい知らせを送り、最初の通知表までにすべての家庭に1件は届くようにします。

5 指導の段階

1. 目で合図する、または生徒のそばに立つ。
2. 約束を静かに思い出させる。
3. 注意し、アプリに記録してパターンを把握できるようにする。
4. 行動に見合った対応：授業の最後の数分で課題をやり直す、授業の残りの時間は席を移動する、器具を不適切に扱った場合は実験時間を減らす。
5. 授業後に話し合い、改善計画に合意する。
6. 1週間に3回目の注意が記録されたら、家庭に連絡する。

けんか、いじめ、実験中の危険な行動は、直ちに学校の手順に従って対応する。

6 教室環境

4人グループで、座席表は単元ごとに変えます。クールダウンスペースは窓際の机です。実験器具はラベルを貼った棚に保管し、薬品棚は私だけが開けます。

7 家庭

最初の1週間に、4つの約束とポイントの仕組みを説明する歓迎メールを送ります。よい知らせは毎週送ります（パート4参照）。問題があるときは、メールの前にまず電話します。

8 指導と見直し

最初の1週間で、入室のルーティン、注目の合図、実験のルーティンを自然にできるようになるまで練習し、各約束の具体例はクラスと一緒に作ります。計画は6週間後と、各通知表の後に見直します。